



2024年度 第36回

- 栃木県実業団対抗春季テニスリーグ
- 兼 関東実業団対抗テニスリーグ
- 兼 ビジネスパルテニス関東大会 県予選大会

- 期日: 2024年5月6日(月・祝), 12日(日), 19日(日), 25日(土)
- 会場: 栃木県総合運動公園テニスコート、宇都宮屋板運動場テニスコート
宇都宮市清原中央公園テニスコート
- 主催: 栃木県テニス協会
- 後援: 下野新聞社
- 協賛: 株式会社ダンロップスポーツマーケティング
- 主管: 栃木県テニス協会実業団委員会

《 大会役員 》

- 大会会長 : 上野 通子
- 参与 : 富田 勸・高橋 一
- 大会委員長 : 吉井 正光
- 大会副委員長 : 吉羽 清美・壁屋 行雄・鈴木 秀男・鈴木 紀雄
- ディレクター : 川田 卓也
- アシスタントディレクター : 松井 一浩
- レフェリー : 江連 雅晴
- アシスタントレフェリー : 青山京太郎
- 競技運営委員 : 古谷優弥・八木橋智史・金子瑞樹・関谷陽成・石島将大

ホームページ URL <http://www.tochigi-tennis.com/businessmain>

2024年度 第36回
栃木県実業団対抗春季テニスリーグ
兼 関東実業団対抗テニスリーグ、ビジネスパルテニス関東大会県予選
試合要項

1. 主催 栃木県テニス協会実業団委員会
2. 協賛 株式会社ダンロップスポーツマーケティング
3. 会場 栃木県総合運動公園テニスコート、宇都宮市屋板運動場テニスコート
宇都宮市清原中央公園テニスコート
4. 試合日程及び会場
2024年5月6日(月・祝): ◆男子第2部リーグ 宇都宮市屋板運動場テニスコート(15面)
◆女子リーグ
5月12日(日): ◆男子第1部予選リーグ 栃木県総合運動公園テニスコート(16面)
◆女子リーグ(予備日)
5月19日(日): ◆男子第1部順位決定リーグ宇都宮市屋板運動場テニスコート(15面)
5月25日(土): ◆予備日 宇都宮市清原中央公園テニスコート(8面)
5. 試合方法
 - ◆男女共2ダブルス、1シングルの対抗戦(3ポイント)
 - ◆男女共に単複の重複出場は不可。
 - ◆試合順序は全てD2, D1, S1
 - ◆男子第2部は6ゲームズ1セットマッチ
男子第1部ならびに女子の試合は全試合、8ゲームズプロセットマッチ(8オール、7ポイントタイブレイク)
但し、天候あるいは試合進行状況により、試合方式が変更になることがある。
 - ◆試合を辞退する場合には、試合3日前までにディレクターまで連絡のこと。
【第2部】
 - ・参加チームをE,F,G,の3ブロックに分け、ラウンドロビンによるリーグ戦を行う。
 - ・ラウンドロビンによる予選リーグ戦後、各ブロック同一順位チームによる順位決定戦を行い
1位から5位までの計5チームは第1部へ昇格する。
但し、第1部への出場辞退があった場合は次順位のチームが昇格することとする。【第1部】
 - 〈予選リーグ〉
 - ・16チームをA,B,C,Dの4ブロックに分け、各ブロック(4チーム)でラウンドロビンを行なう。〈順位決定リーグ〉
 - ・各ブロック第1位チーム計4チームでラウンドロビンによるリーグ戦を行い、第1～4位の順位を決定する。
 - ・各ブロック第2位チーム計4チームのラウンドロビンを行い、第5～8位の順位を決定する。
 - ・予選リーグ各ブロック上位3チームは次大会第1部ストレート・イン資格を得る。
各ブロック最下位チームは第1部から降格する。(第2部のシード権を得る)
但し、予選、決勝リーグにおいて出場辞退した当該チームは第2部に降格する。
 - ・前回大会の各ブロック第3位の下記チームは、第1部予選リーグの監督者会議において抽選により第1部のA2を決定する。(前回のベスト8チームで1チーム辞退があったため。)その後、残りの3チームに加え、2部リーグ1位のチームにより抽選を行いA3～D3を決定する。
※キヤノンA、CMSC-A、足利銀行A、足利銀行B
 - ・第2部から昇格の4チームは第1部のA4～D4を抽選で決定する。

★女子

- ・3チームでリーグ戦を行い順位を決定する。
- ・女子に限りOG選手の参加を認める。OG選手の登録は2名まで、1対抗につき1ポイントのみとする。

6. ラウンドロビン方式による順位決定方法

『JTAテニスルールブック2024』に従う。

(1)チームの勝率の高い方を上位とする。

(2)2者が同率になった場合は、互いの対戦結果(直接対決)の勝者。

(3)3チームが同率になった場合は、以下の要素で順位を決定する。

①合計の勝利試合数の多いチームが上位。

②①が同じ場合、全試合での取得セット率(%)。

取得セットの合計数÷全試合のセット合計数=取得セット率

③②が同じ場合、全試合での取得ゲーム率(%)。

取得ゲームの合計数÷全試合のゲーム合計数=取得ゲーム率

(4)ノーショウ、または失格者の取得ゲーム数はすべて0とする。

(5)けが等によるリタイヤの場合は、勝者はリタイヤの後、残りのゲームをすべて勝ったとしてゲームを記録し、敗者はリタイヤするまでに取得したゲーム数を記録する。

7. 使用球

- ・ダンロップ・フォート
- ・ボールチェンジは原則として行なわない。

8. 審判

- ・原則としてセルフジャッジとする。

《セルフジャッジ》

- ・『JTAテニスルールブック2024』を参照下さい。

<セルフジャッジ5原則>

①判定が難しい場合はグッド。(相手に有利に)

②アウトまたはフォールの判定は、ボールとラインの間にはっきりと空間が見えたとき。

③サーバーはサービスを打つ前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス。

④ジャッジコールは、相手に聞こえる声と相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに。

⑤コート外の方は、セルフジャッジへの口出しはしない。

9. ベンチコーチ、ボールパーソン

- ・1コートに各1名ずつ可。ベンチコーチ、ボールパーソンは拍手不可。
- ・コーチングは『JTAテニスルールブック2024』を遵守すること。
- ・未登録者がベンチコーチ入りする場合には、所定の用紙に記入の上、大会本部へ申請すること。この場合、プレーヤーと同じ服装の規制を受ける。

10. ウェア及びシューズ

各チームとも下記の条件を満足する中で、企業カラー、チームカラーを積極的に取り込んだユニフォームの設定を期待します。

① 試合中は、男子はテニスウェアにショーツ、女子はワンピース又はシャツにスカートあるいはショーツとする。Tシャツは不可。

② 色物は制限しない。但し、チームがコントロールすること。

③ 自チームの企業名、ロゴの表示については大きさ、数の制限を一切しません。

自チームの企業広告を目的としたウェアへの表示は対戦相手のプレーに支障を与えないと判断される場合はいかなる制限もありません。

④ ウェア、帽子の製造業社のロゴマークは『JTAテニスルールブック2023』に従う。

コート内に入るコーチはプレーヤーと同じと見なされる。

⑤ 気象条件等を勘案し、レフェリーの判断によりウォームアップスーツの着用を認める。

⑥ チーム名が識別できないウェアを着用する場合には、10cm×20cm以上の自チーム

名の表示を試合中の選手の背面に着けることを期待する。

- ⑦ ダブルスの場合にはパートナーの色調、コンビネーションは意識的にコントロールすること。
- ⑧ 疑義のある場合は事前にレフェリーのチェックを受けてからコートに入ること。
試合中に注意を受けないようにすること。

11. ポイント及び選手変更

- ① 男女共に全ポイント消化を原則とする。
- ② 3ポイント未満の場合はウォークオーバーとする。(ポイントは3-0を、スコアは8-0を対戦相手に与える)。但し、メンバー補充も許可し試合は行うものとする。
- ③ ポイント決定後、登録選手内での出場選手変更を認める。但し、所定の用紙に記入の上、大会本部及び対戦相手チームへ提出下さい。
- ④ 初回の監督者会議において、登録数内で1名の選手追加あるいは変更を認める。但し、同一実業団においてA→B, B→Aのような選手異動は不可。

12. リーグ戦の試合順序

【男子第1部】

予選リーグ

No.	対 戦	
1	1-3	2-4
2	1-4	2-3
3	1-2	3-4

順位決定(1~8位)リーグ

No.	対 戦			
1	A1-C1	B1-D1	A2-C2	B2-D2
2	A1-D1	B1-C1	A2-D2	B2-C2
3	A1-B1	C1-D1	A2-B2	C2-D2

【男子第2部】

No.	対 戦
1	1-3
2	2-3
3	1-2

【女子】

No.	対 戦
1	1-3
2	2-3
3	1-2

13. 表彰

- (1) 男女共優勝, 準優勝, 第3位(男子のみ), 第4位(男子のみ)の表彰する。
- (2) 2024年度関東実業団対抗テニスリーグ戦(A大会)の出場権は、以下(※)を基本とし、男女優勝チームに選択権を与える。

※男女各優勝チームには2024年度関東実業団対抗テニスリーグ戦(A大会)、男子は準優勝、第3位チームに、女子は準優勝チームに、ビジネスパルテニス関東大会(B大会) への出場権を与える。

14. ダブルスのオーダ

- ①オーダの制限はない。

15. その他

- (1) 雨天でも一度会場に参集のこと。順延の場合はコートに掲示する。
- (2) 一度交換提出したオーダは変更不可。
- (3) オーダ交換時にメンバ全員が揃っていることを原則とする。
- (4) 適正でない棄権, 不戦は次の試合への出場を停止することがある。
- (5) 団体戦であることから、コート後方のネットに社旗を必ず掲揚下さい。
- (6) A3サイズ長手方向に半分に切った用紙(420mm×148mm)に、各チームの名前を書いたものを**3部必ず持参**下さい。スコアボードに貼付けます。
例) ○○電機A, △△商事B 等
- (7) オーダ用紙を3部作成すること。(大会本部用,対戦相手チーム用,自チーム用)
オーダ用紙原紙を各チームの連絡責任者にメールで送付しますので、予めコピーの上、

必要枚数を持参下さい。

対戦相手チームとのオーダ交換前に、大会本部にオーダ用紙を必ず提出すること。

- (8) 試合前にネットをはさんで整列し、オーダを交換すること。
- (9) 試合進行を円滑にするため**1ポイント毎に勝者はスコアをレフェリーまたは最寄りのロービングアンパイアに報告**のこと。(不在の場合には大会本部まで)
- (10) ウォームアップは5分以内(厳守)。試合進行により短縮, 変更もありうる。
- (11) 続けて試合を行なう場合の休憩は15分以内とする。但し、15分を超える空きコートが生じる場合には試合順序を変更することがある。
- (12) レフェリーの許可無しに試合コートで練習してはならない。
- (13) 試合中は携帯電話の使用を禁ずる。偶発的に携帯電話が鳴った場合は電源を切るか、マナーモードに再設定し、プレーの妨げにならないようにする。
- (14) その他については『JTAテニスルールブック2024』を適用する。
ケイレンに対するルールにつきましては、JTAテニスルールブックを熟読願います。
- (15) 試合終了後ベンチをコート後方に、スコアボードを倉庫に、マグネットを大会本部に返却願います。また、最終試合後はコート整備をお願いします。
- (16) 公園コートであり、ゴミの後片付け、持ち帰りを宜しくお願い致します。

【 試合進行予定表 】

- (1) 5月6日(月・祝): ◆男子第2部リーグ 宇都宮市屋板運動場テニスコート(15面)
◆女子リーグ 同上
9:00～監督者会議 時間厳守願います。
9:30～オーダ交換
- (2) 5月12日(日): ◆男子第1部予選リーグ 県総合運動公園テニスコート(16面)
◆女子リーグ(予備日) 同上
9:00～監督者会議
9:30～オーダ交換
- (3) 5月19日(日): ◆男子第1部順位決定リーグ 宇都宮市屋板運動場テニスコート(15面)
9:00～監督者会議
9:30～オーダ交換
- (4) 5月25日(土): ◆予備日(残り試合) 宇都宮市清原中央公園テニスコート(8面)
9:00～監督者会議
9:30～オーダ交換

【女子リーグ】

No	チーム名	栃木県教職員	栃木県庁	本田技術研究所	勝 敗	ポイント	順位
1	栃木県教職員						
2	栃木県庁						
3	本田技術研究所						

【男子メンバー表】

実業団名	監督	選手1	2	3	4	5	6	7	8	9
足利銀行A	藤倉	狐塚	吉田	藤倉	横山	菅				
足利銀行B	吉新	中村	関根	渡部	伏木	川田	吉新			
花王	是澤	村田	是澤	有田	寒川	柳田	木下	加藤	安藤	瀬戸
鹿沼市役所	田野井	竹沢	長岡	田野井	廣田	丹	照井	斎藤	加藤	金子
キヤノンA	附田	矢木田	鷹家	太田	附田	長尾	石井	井出		
CMSC-A	桃崎	桃崎	森	原田	掛江	豊田	飯田			
CMSC-B	遠藤	遠藤	八木澤	大石	大江	角田	中野			
コマツA	稲田	小島	小笠原	稲田	谷田部	木山	中村	出井(統)		
コマツB	石島	高橋	原	出井(正)	石島	神田	依田	小川	田中	佐藤
SUBARU	八木橋	中西	田中	吉岡	阿久津	八木橋	吉田			
栃木県庁A	阿久津	阿久津	法師人	大貫	小林	江連	若林	去田	菅野	岩村
栃木県庁C	津野田	金子	関	津野田	内田	坂本	中山	印南	鈴木	大野
ニコンA	高井	岡本	勝山	床井	鈴木	原	齋藤	鬼武	松丸	関谷
日産自動車	篠崎	岩崎	藤代	篠崎	菊地	菅野	宇野	森本	平池	
本田技術研究所A	新井	新井	齊藤(将)	佐藤	千葉	川越	本多	両角		
本田技術研究所B	古谷	古谷	金山	木村	松本	足立	佐藤	野田		
本田技術研究所C	村井	門田	村田	大槻	鶴澤	村井	齋藤(光)	江連		
本田技術研究所D	吉川	松山	萩原	根本	吉村	長浜	吉川	金井		
本田技研工業EG-A	山中	中村	後藤	深井	山中	青山	永井	宮前		
本田技研工業EG-B	岸上	中田	岸上	斎藤	真鍋	岩永	高松	矢部	稲木	荒井

【女子メンバー表】

実業団名	監督	選手1	2	3	4	5	6	7	8	9
栃木県教職員	齋藤	太田	永井	富川	齋藤	梅津	勝澤	金敷	関口	
栃木県庁	横山	片野	中山	市川	岩崎●	上野	石川	横山		
本田技術研究所	鈴木	鈴木	古橋	大纏	今野●	青木●				

※OGは名前の後ろに●を表記

【 栃木県実業団対抗春季テニスリーグ戦績一覧 】

【 男子 】

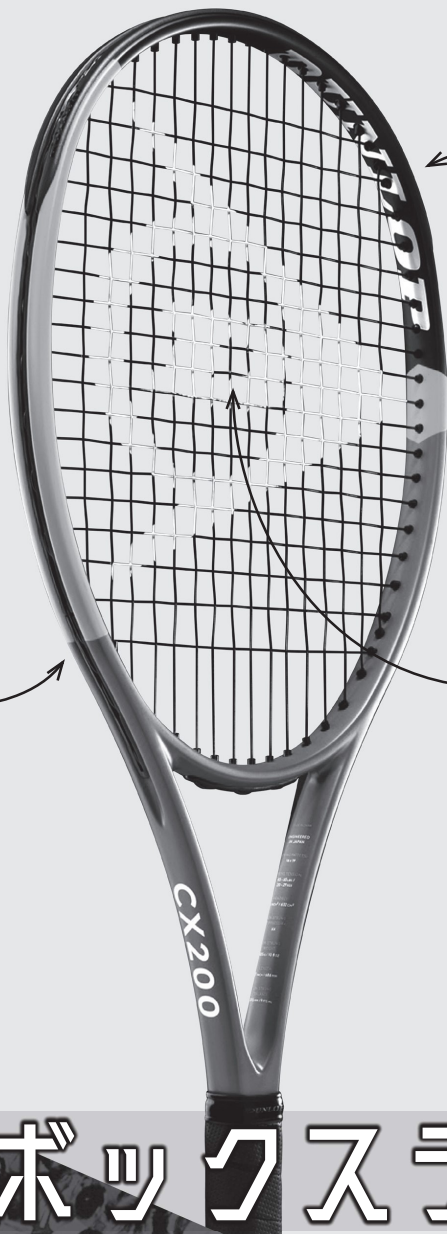
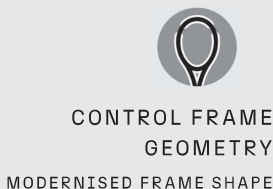
大会No.	開催年度	優勝	準優勝	第3位	第4位
第1回	1988年	昭和アルミニウム	日立栃木	KDD	富士通小山
第2回	1989年	足利銀行	東京計器那須	東芝那須	富士通小山
第3回	1990年	足利銀行	昭和アルミニウム	日立栃木	富士通那須
第4回	1991年	足利銀行	本田技術研究所	日立栃木	富士通那須
第5回	1992年	足利銀行	富士通那須	花王	本田技術研究所
第6回	1993年	足利銀行	昭和アルミニウム	花王	富士通那須
第7回	1994年	足利銀行	昭和アルミニウム	富士通那須	花王
第8回	1995年	栃木県庁	足利銀行	昭和アルミニウム	本田技術研究所
第9回	1996年	栃木県庁	足利銀行	本田技術研究所	昭和アルミニウム
第10回	1997年	足利銀行	栃木県庁	本田技術研究所	昭和アルミニウム
第11回	1998年	足利銀行	栃木県庁	本田技術研究所	昭和アルミニウム
第12回	1999年	栃木県庁	足利銀行	昭和アルミニウム	本田技術研究所
第13回	2000年	足利銀行	本田技術研究所	栃木県庁	ブリヂストン
第14回	2001年	本田技術研究所	栃木県庁	足利銀行	ブリヂストン
第15回	2002年	ブリヂストン	本田技術研究所	栃木県庁	足利銀行
第16回	2003年	本田技術研究所	栃木県庁	ブリヂストン	本田技術研究所
第17回	2005年	本田技術研究所	栃木県庁	足利銀行	キャノン
第18回	2006年	本田技術研究所	栃木県庁	足利銀行	キャノン
第19回	2007年	キャノン	本田技術研究所	ホンダエンジニアリング	富士重工
第20回	2008年	栃木県庁	足利銀行	本田技術研究所	キャノン
第21回	2009年	本田技術研究所	栃木県庁	足利銀行	ホンダエンジニアリング
第22回	2010年	足利銀行	本田技術研究所	栃木県庁	コマツ
第23回	2011年	栃木県庁	足利銀行	本田技術研究所	ホンダエンジニアリング
第24回	2012年	栃木県庁	本田技術研究所	足利銀行	ホンダエンジニアリング
第25回	2013年	栃木県庁	本田技術研究所	キャノン	足利銀行
第26回	2014年	栃木県庁	鹿沼市役所	本田技術研究所	キャノン
第27回	2015年	鹿沼市役所	栃木県庁	本田技術研究所	足利銀行
第28回	2016年	栃木県庁	鹿沼市役所	本田技術研究所	本田技術研究所
第29回	2017年	本田技術研究所	鹿沼市役所	足利銀行	栃木県庁
第30回	2018年	栃木銀行	本田技術研究所	キャノン	鹿沼市役所
第31回	2019年	鹿沼市役所	本田技術研究所	栃木銀行	コマツ
第32回	2020年	中止			
第33回	2021年	鹿沼市役所	栃木県庁	本田技研工業	栃木銀行
第34回	2022年	本田技術研究所A	鹿沼市役所	足利銀行	SUBARU
第35回	2023年	コマツA	本田技術研究所A	鹿沼市役所	SUBARU
第36回	2024年				

【 女子 】

大会No.	開催年度	優勝	準優勝	第3位	第4位
第1回	1988年	栄研化学	松下電器	昭和アルミニウム	KDD
第2回	1989年	松下電器	昭和アルミニウム	日本信号	KDD
第3回	1990年	松下電器	昭和アルミニウム	日本信号	KDD
第4回	1991年	松下電器	日産自動車	昭和アルミニウム	富士通小山
第5回	1992年	松下電器	富士通小山	昭和アルミニウム	自治医大職員
第6回	1993年	松下電器	日立栃木	富士通小山	昭和アルミニウム
第7回	1994年	松下電器	日立栃木	富士通那須	自治医大職員
第8回	1995年	松下電器	本田技術研究所	日立栃木	富士通那須
第9回	1996年	松下電器	本田技術研究所	自治医大職員	足利銀行
第10回	1997年	昭和アルミニウム	本田技術研究所	足利銀行	宇大教職員
第11回	1998年	本田技術研究所	昭和アルミニウム	宇大教職員	—
第12回	1999年	昭和アルミニウム	日立栃木	本田技術研究所	宇大教職員
第13回	2000年	栃木県庁	宇大教職員	足利銀行	—
第14回	2001年	栃木県庁	本田技術研究所	宇大教職員	足利銀行
第15回	2002年	栃木県庁	KDDI	本田技術研究所	足利銀行
第16回	2003年	本田技術研究所	栃木県庁	宇大教職員	KDDI
第17回	2005年	栃木県庁	宇大教職員	富士重工	本田技術研究所
第18回	2006年	栃木県庁	KDDI	宇大教職員	本田技術研究所
第19回	2007年	栃木県庁	宇大教職員	本田技術研究所	花王
第20回	2008年	栃木県庁	本田技術研究所	宇大教職員	富士重工
第21回	2009年	宇大教職員	栃木県庁	本田技術研究所	KDDI
第22回	2010年	栃木県庁	宇大教職員	KDDI	花王
第23回	2011年	栃木県庁	KDDI	本田技術研究所	花王
第24回	2012年	栃木県教職員	栃木県庁	本田技術研究所	KDDI
第25回	2013年	栃木県教職員	栃木県庁	本田技術研究所	宇大教職員
第26回	2014年	栃木県教職員	本田技術研究所	栃木県庁	富士重工
第27回	2015年	栃木県教職員	栃木県庁		
第28回	2016年	栃木県教職員	栃木県庁		
第29回	2017年	栃木県教職員	栃木県庁	足利銀行	
第30回	2018年	栃木県教職員	栃木県庁	足利銀行	コマツ
第31回	2019年	栃木県教職員	栃木県庁	足利銀行	
第32回	2020年	中止			
第33回	2021年	本田技研工業	栃木県教職員	コマツ	CMSC
第34回	2022年	栃木県教職員	栃木県庁	本田技研工業	CMSC
第35回	2023年	栃木県教職員	栃木県庁	本田技術研究所	
第36回	2024年				

大会No.	開催年度	最優秀選手賞		優良実業団賞
		男子	女子	
第7回	1994年	阿久津渉(足利銀行)	大貫伊都子(松下電器)	花王
第8回	1995年	阿久津定之(栃木県庁)	大田和典子(松下電器)	富士重工
第9回	1996年	鈴木秀男(栃木県庁)	篠田優子(松下電器)	本田技研
第10回	1997年	関根庄二(足利銀行)	市村玉青(昭和アルミニウム)	足利銀行
第11回	1998年	高澤英之(足利銀行)	郷間淑子(本田技研)	昭和アルミニウム
第12回	1999年	大貫大輔(栃木県庁)	柴田久美子(昭和アルミニウム)	栃木県庁
第13回	2000年	中村紀昭(足利銀行)	田中明子(栃木県庁)	栃木銀行
第14回	2001年	今野辰二郎(本田技研)	南場照美(栃木県庁)	ブリヂストン
第15回	2002年	中村大樹(ブリヂストン)	岩崎享子(栃木県庁)	宇都宮市役所
第16回	2003年	木村寛(本田技研)	手塚真弓(本田技研)	東芝那須
第17回	2005年	小田哲也(本田技研)	上野晴子(栃木県庁)	コマツ
第18回	2006年	小椋栄治(本田技研)	郡司久美子(栃木県庁)	該当なし
第19回	2007年	若園毅(キヤノン)	市川泰世(栃木県庁)	該当なし
第20回	2008年	法師人行雄(栃木県庁)	中山晴美(栃木県庁)	該当なし
第21回	2009年	吉村雄太(本田技研)	細島美智子(宇大教職員)	該当なし
第22回	2010年	阿久津渉(足利銀行)	菊地直美(栃木県庁)	該当なし
第23回	2011年	若林克弥(栃木県庁)	大森睦美(栃木県庁)	該当なし
第24回	2012年	小林裕幸(栃木県庁)	齋藤敦子(栃木県教職員)	該当なし
第25回	2013年	若林克弥(栃木県庁)	藤瀬真理(栃木県教職員)	該当なし
第26回	2014年	若林克弥(栃木県庁)	金敷美由紀(栃木県教職員)	該当なし
第27回	2015年	丹 敏亮(鹿沼市役所)	該当なし	該当なし
第28回	2016年	小林裕幸(栃木県庁)	該当なし	該当なし
第29回	2017年	該当なし	該当なし	該当なし
第30回	2018年	該当なし	該当なし	該当なし
第31回	2019年	該当なし	該当なし	該当なし
第32回	2020年	該当なし	該当なし	該当なし
第33回	2021年	該当なし	該当なし	該当なし
第34回	2022年	該当なし	該当なし	該当なし
第35回	2023年	該当なし	該当なし	該当なし
第36回	2024年			

DUNLOP

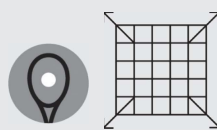


SONIC CORE

Infinergy®

Made with
Infinergy®
by BASF

ENHANCE RACKET FEEL



POWERGRID
STRINGTECH+
WIDER STRING BED

CX SERIES

シン・ボックスラケット

ダンロップを代表するコントロール系ラケット「CXシリーズ」が、第3世代へとバージョンアップ。

金型からボックス形状フレームを刷新し、ツアーでの高い実績を誇る卓越したコントロール性能はそのままに、プレーヤーにさらなる飛びと、より攻撃的なスピンをもたらすことが可能に。

それはボックス形状特有のしなりやホールド感があるのに、よく飛び、よくスピンもかかるコントロール系ラケットの新しいカタチ。

さらに振動減衰性能の向上で、これまで以上にクリアで快適な打球感を実現。

長年に渡り、ボックス形状ラケットを主力モデルとして展開し、受け継がれ進化を果した「シン・ボックスラケット」が時代を創る。



LOVE THE GAME



販売元 株式会社 ダンロップスポーツマーケティング
〒108-0075 東京都港区港南1-6-41
お客様専用フリーダイヤル 0120-301129 (10:00~12:00 13:00~17:00 ※平日のみ)

製造元 住友ゴム工業株式会社

※ダンロップ製品をより安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず添付の取扱説明書および使用上の注意をお読みください。

「商品情報」をはじめ「最新ニュース」から「ショッピング」まで、
ダンロップのラケットスポーツの公式サイトにアクセス!



DUNLOP
ダンロップスポーツ
公式オンラインストア
GOLF & RACKET SPORTS